

第3章 優れた自然環境の保全と活用の取組

1 自然公園ふれあい全国大会の開催

21年9月12日（土）、13日（日）の両日、人と自然の関わりの中核である「里山」や「里海」を中心とした全国で初めての国定公園である「丹後天橋立大江山国定公園」と「若狭湾国定公園」を舞台に、常陸宮同妃両殿下の御臨席を賜るとともに、全国各地から約3,500名の参加者を迎え、「平成21年度自然公園ふれあい全国大会」が開催されました。

①大会の趣旨及び基本方針

環境省が主唱する「自然に親しむ運動」の趣旨に則り、地域の環境保全や振興に資するエコツーリズムを推進するとともに、自然と私たちとの関係について考え、自然を守りながら人と自然との豊かなふれあいを推進する。

<基本方針>

- 里地里山が主体の府北部国定公園の特徴を活かし、そこでの暮らしの発信などを通じて、人と自然の関わり方を提案し、全国各地で多様な**エコツーリズム***の取組を推進
- 日本初のモデルフォレスト運動を通じて里山の環境保全等に取り組む京都から、多様な主体の交流と連携による自然環境の保全の取組を全国に拡大
- 天橋立の世界遺産登録、山陰海岸ジオパークの取組と連携しながら、優れた自然景観や歴史文化に彩られた府北部地域の魅力と地域資源を活かした持続可能な地域づくりを全国にアピール

②大会の概要（主な行事）

行事名	日程・会場	主な内容
記念式典	9月12日（土） 宮津会館	○オープニングセレモニー 宮津高等学校琴部演奏、加悦谷高等学校合唱部合唱ほか ○記念式典 自然公園関係功労者環境大臣表彰、環境保全功労者知事表彰、常陸宮殿下のお言葉、誓いのことば、アトラクション（宮津市無形民俗文化財「漁師町の浮太鼓」）ほか
エコツーリズム・シンポジウム	9月13日（日） 丹後文化会館	○オープニング 「丹後の宝」 京丹後市立宇川小学校 ○基調講演 「丹後の『食』の宝探し」 田崎真也（ソムリエ） ○パネルディスカッション 「丹後の宝探しと磨き方」 コーディネーター 深町加津枝（京都大学大学院地球環境学堂准教授） パネリスト 飯尾 毅（NPO法人里山ネットワーク世屋理事長） 伊藤五美（北桑の森／ガイドウォーク） 中江伸子（京丹後宿おかみさんの会） 真板昭夫（京都嵯峨芸術大学教授）
ふれあい広場	9月12日（土） 13日（日）	「6つのしょく（食、植、色、織、触、飾）」をテーマに特産品の展示販売、環境保全活動等の紹介 島崎公園（12日～13日） 32ブース 丹後文化会館（13日） 14ブース

図1-6 平成21年度自然公園ふれあい全国大会 記念式典



○エコツアーコース

コース名（市町名）	コース
鬼伝説が息づく里山コース（福知山市）	1日目：元伊勢皇大神社～毛原の棚田～高野山真言宗如来院～グリーンロッジ 2日目：鬼嶽稻荷神社～大江山連峰
百姓魂が息づく里山コース（舞鶴市）	大庄屋上野家～西方寺平
涼風の世屋高原と山里料理コース（宮津市）	1日目：世屋高原～上世屋笹葺民家集落～しおぎり荘 2日目：藤織り見学・体験～ブナの森
ボンネットバスで巡る琴引浜・山野草の里コース（京丹後市）	1日目：琴引浜～丹後温泉はしうど荘 2日目：立岩～古代の里資料館～丹後松島
舟屋が息づく伊根浦散策コース（伊根町）	舟屋の里公園～舟屋見学～伊根湾巡り
ちりめん街道散策コース（与謝野町）	旧加悦鉄道駅舎～ちりめん街道～旧尾藤家～彩色友禅体験
天橋立体感コース（宮津市）	天橋立小天橋～小女郎の小径

③大会の成果と今後の展開

大会行事以外にも、府北部地域の環境保全団体など100を超える各種団体等の協力を得て、各団体等が実施する自然体験プログラム等をプレイベントとして情報発信したり、大会の前後に、府北部国定公園地域で実施される自然とふれあう活動等を大会関連イベントとして実施し、地域の連携強化と大会趣旨の普及に取り組みました。

本大会開催を通じて、人と自然との豊かなふれあいにより、自然と共生する地域づくりや自然との関わり方、豊かな自然を次の世代に確実に引継ぐことの大切さを、京都府北部から全国へ、改めて発信することができたと考えます。

また、大会で実施した7つのエコツアーは、大会1年前から地元市町や団体の皆さんがガイド養成やコースの選定や内容に知恵をしぼってこられたもので、豊かな食や生活文化も活かした京都らしいエコツーリズムの取組が定着し、地域振興につながることを期待されています。今後さらに、地元4市2町や地域住民とともに、見過ごされている地域の素晴らしい自然や文化を宝として持続的に活かしたエコツアーコースづくりやガイド養成などに取り組んでいくことにしています。

図1-7 平成21年度自然公園ふれあい全国大会 エコツーリズム・シンポジウム



2 世界ジオパークを目指す山陰海岸ジオパーク

「ジオパーク」とは、ヨーロッパで始まった地質や地形を見どころとする一種の自然公園で、貴重で美しい地質や地形を含めた自然遺産を保全するとともに、**ジオツーリズム***を通じて地球科学の普及や環境教育などを行い、さらにこれらの遺産を観光資源として活用して地域社会の活性化を目指す取組です。2004年にはユネスコの支援で世界ジオパークネットワーク（GGN）が設立され、2009年末現在、ヨーロッパと中国を中心に64地域がGGNに加盟しています。

GGNへの加盟は、各国の審査機関において「国内ジオパーク」として認定され、さらにGGN加盟の推薦を受けることが必要です。我が国においては、2008年5月に国内審査機関として「日本ジオパーク委員会」が設立され、2008年12月に山陰海岸を含む7地域が「日本ジオパーク」に認定されました。また、2009年8月には、日本ジオパーク委員会から推薦を受けた洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島の3地域がGGNへの加盟が認められました。

山陰海岸地域は、2009年10月にGGN加盟申請候補に選定されたところで、現在、京都府、兵庫県、鳥取県の行政機関や民間団体等が連携し、GGN加盟に向けての活発な取組を進めています。

①山陰海岸ジオパークのエリア

山陰海岸国立公園を中心とする京都府京丹後市の経ヶ岬から鳥取県鳥取市の湖山池西端を含めた白兔海岸までは、日本列島がアジア大陸の一部であった時代の岩石から、今日に至るまでの経過が確認できる貴重な海岸です。これら地質遺産が連続する京都府（京丹後市）、兵庫県（豊岡市・香美町・新温泉町）、鳥取県（岩美町・鳥取市）が、山陰海岸ジオパーク構想の対象となっています。

図1-8 山陰海岸ジオパークのエリア



②山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟に向けた取組経過

- 19年 7月16日 山陰海岸ジオパーク推進協議会設立
- 20年12月 8日 日本ジオパークに認定
- 21年 3月20日 山陰海岸の世界ジオパークネットワーク加盟をめざす三府県議会議員の会設立
- 21年10月28日 GGN加盟申請候補に選定
- 21年12月 1日 GGNに加盟申請 (22年に現地審査予定)

<山陰海岸ジオパーク推進協議会（山陰海岸ジオパーク推進組織）の概要[21. 1. 1現在]>

- 会 長 豊岡市長
- 副 会 長 鳥取市長、京丹後市長
- 幹 事 長 新温泉町長
- 事務局長 兵庫県但馬県民局長
- 加盟団体 京都府、兵庫県、鳥取県、京丹後市、豊岡市、香美町、新温泉町、岩美町、鳥取市、関係府県及び市町の観光団体、商工団体、漁協、山陰海岸を世界の公園にする会、世界の石の花・華の博物館玄武洞ミュージアム、遊覧会社など、計38団体
- 組 織 協議会の下に、学術部会、ツーリズム部会、教育部会、地域連携部会を設置
- 学術顧問 三田村宗樹・大阪市立大学准教授（学術部会長）ほか
- 事 務 局 兵庫県但馬県民局ジオパーク課内

③山陰海岸ジオパークの目標

地域住民、行政、民間企業が協働して、山陰海岸の優れた地質遺産を保全するとともに、地域の歴史文化資源とともにそれらを活用して特徴的で魅力的なジオツーリズムを展開することで、自然環境の保全、教育の振興、広域観光の振興など持続可能な地域社会の発展を目指します。

<基本理念>

「日本海形成と日本列島弧誕生のダイナミクスを体感するジオパークの創造」
～山陰海岸の地形、地質、そして自然と文化のフィールドミュージアム～

<山陰海岸ジオパークの特徴>

- 日本海の形成にかかわる地質の多様性
- 日本海沿岸の海岸地形の多様性（岩石海岸と砂浜海岸）
- 地球科学史上貴重な発見（松山逆磁極期の発見）
- 火成活動の影響を受けた豊富な温泉資源
- 地形・地質の中で生じた動植物の多様性
- 多様な自然を背景とした地域の歴史・文化・暮らし

④山陰海岸ジオパークのジオテーマ・ジオエリア

※Ma＝百万年前

ジオテーマⅠ：日本海形成前の大陸の時代（白亜紀～古第三紀、75～50Ma）

ジオテーマⅡ：日本海形成へ向けた前駆的内陸盆地と安山岩質マグマ活動の時代（前期中新世、25～19Ma）

ジオテーマⅢ：日本海形成と流紋岩質マグマ活動の時代（中期中新世、19～11Ma）

ジオテーマⅣ：日本海成立後に引き続く火山活動の時代（鮮新世、4～2Ma）

ジオテーマⅤ：現在の地形形成と第四紀火山の時代（第四紀、2Ma～現在）

上記の5つのジオテーマの設定とともに、広範な地域の中に点在する多くのジオサイトを効果的に結び、観光、体験、学習などがよりよく行えるよう、12のジオエリアを設定しています。

図1-9 山陰海岸ジオパークのジオテーマ・ジオエリア

地質年代	ジオテーマ	ジオエリア												
		鳥取砂丘	浦富海岸	扇ノ山	但馬御火浦-浜坂海岸	香住海岸	竹野海岸	鉢伏	神鍋	円山川	琴引浜久美浜	郷村断層	経ヶ岬間人	
新生代	第四紀	V	現在の地形形成と第四紀火山の時代	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	中新世	IV	日本海成立後に引き続く火山活動の時代		○	○	◎	◎	◎	◎		○	○	◎
		III	日本海形成と流紋岩質マグマ活動の時代	○	○	○	◎	◎		○	◎		◎	◎
		II	日本海形成へむけた前駆的内陸盆地と安山岩質マグマ活動の時代		○		◎	◎	◎	○				○
	古第三紀	I	日本海形成前の大陸の時代		◎		◎		◎	○		○		

◎:主要なジオテーマとして体験・学習ができる。
○:ジオテーマにかかわるジオサイトがある。



⑤山陰海岸ジオパークの主要プロジェクト

(1) 保護と保全に関するプロジェクト

地域住民が主体となって地質遺産の保護・保全を進めていく管理計画を策定し、それに基づき地形・地質資源や貴重種の保護・保全に努めるとともに、周辺の自然環境の保全やクリーン作戦等により環境創造活動の積極的な展開を図っていきます。

(2) 教育・調査研究に関するプロジェクト

ジオサイト等の地域資源を活用した体験学習プログラム、教材の開発を進めます。また、計画的・体系的な調査研究活動の展開を図り、その成果をジオパーク活動に反映させていきます。

(3) ジオツーリズムに関するプロジェクト

風光明媚な地形や地質遺産と他のツーリズム資源や体験プログラムを有機的に組み合わせながら、テーマ性、ストーリー性を持った魅力あるルート開発や商品開発等を進めていきます。また、ジオサイトを活用するソフト開発を進め、ジオツアーを連携させることで、地域の魅力の向上を図っていきます。

(4) 産業振興に関するプロジェクト

地域住民や事業者と行政が一体となってジオパーク活動と連携した産業振興を積極的に展開していきます。特に、農林水産業や地場産業など異業種の交流・協力により産業振興を図るモデル事業やマーケティング活動などを展開していきます。

(5) 住民参画

ジオパーク活動の事業化にあたっては、住民団体・グループ等との連携のもと、地域住民の幅広い参画を得て展開し、ジオパーク活動を主体的に展開する過程で、ふるさと意識の醸成や、住民主体の地域づくりの土壌の培養、持続可能な社会の形成につなげていきます。

図 1-10 琴引浜でのジオツアー



琴引浜に露出する海成層と貝化石

図 1-11 郷村断層



北丹後地震(昭和2年)による道路のずれ